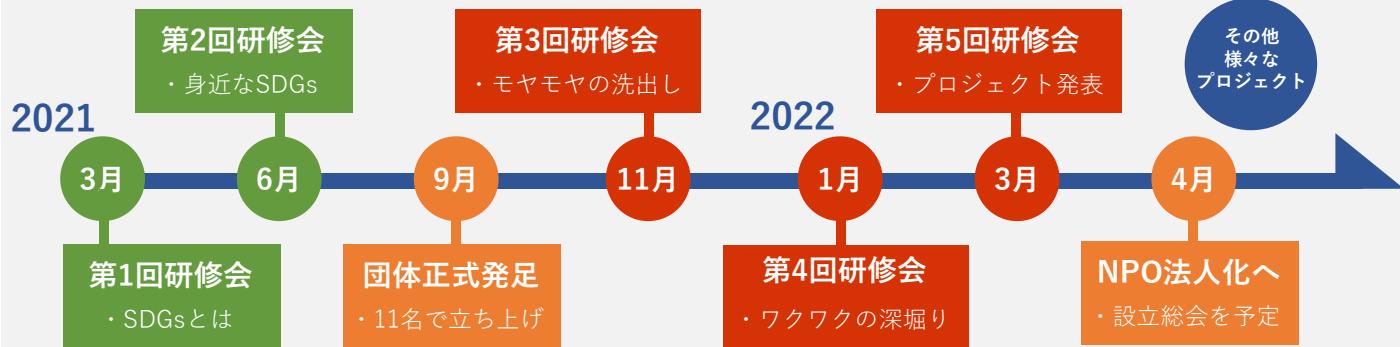
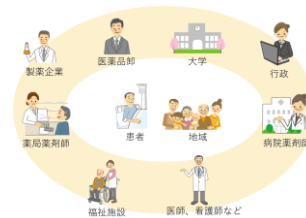


薬薬連携SDGs KANAZAWA

これまでの歩みと今後のビジョン

薬薬連携SDGs KANAZAWAとは

医薬品に関わる全ての人（薬局薬剤師、病院薬剤師、行政、製薬企業、医薬品卸、大学、薬学生など）が、患者さんや地域の健康福祉の向上を目的として社会課題解決のために協働する会です。



活動のきっかけから導入へ

激しい環境の変化は、医薬品業界も同様です。多くの社会課題が生まれています。薬剤師や、医薬品に関する多様な業種が、力を合わせてアイデアを出し合う必要が出てきました。



そこで2021年3月、SDGsを旗印に35名が集い、考える場が生まれました。薬薬連携SDGs KANAZAWAのスタートです。

ミライプロジェクト開始

35名の参加者が3つのチームに分かれ、社会課題解決のアイデアを考え、実践する活動を開始しました。これを私たちは「ミライプロジェクト」と名付けています。

みんなで地域を守り
未来に取り組みミライ
高齢者、子供、在宅患者さんなど、地域を元気に活動する中で課題を話し合っていく仲間になっていく

やりがいを持ち
いきいきと働けるミライ
自分の得意なことを、得意なことを活かして、地域の問題が解決すれば、新しい取り組みも可能になっていく

環境に配慮し
人や地球に優しいミライ
紙、プラスチック、電池、水の使い方を減らす。定着させたい



残薬0（ゼロ）プロジェクト

もはや社会問題である、患者さんの飲み残した薬「残薬」。年間数千億円と言われている残薬をなくすため、Code for Kanazawa、金沢市薬剤師会、IMAGINE KANAZAWA2030と協働でアプリ開発に着手しています。



手洗いプロジェクト

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守るため、消毒薬のプロであるメンバーが、児童館での手洗いプロジェクトを開始。



NPO法人 日本薬育研究会と協働し、ゲームを取り入れながら楽しく実践中です。

今後のビジョン

2022年度にはNPO法人化し、地域、行政、薬剤師会との連携を強化していく方針です。また、他団体との協働を通して、社会課題解決に幅と柔軟性を持たせていきます。さらには、活動の展開を目的として、SNSやホームページによる発信の強化と、全国に同様の組織の立ち上げを促し、横展開を図っていきます。患者さんや地域の健康福祉向上のために、薬薬連携SDGs KANAZAWAは2030年まで走り続けます。

